

工作会 活動記録(H29-1) 報告書

報告者:荒井 皓至

行事名	工作会(研修会) 「隠し絵」 & 「モビール」の紙工作
実施日時	2017年 1 月 18 日「水」 9時30分 ~ 15時 天候 : 晴れ
場所	ぷらざこむ 1 2階21号室
参加人員	一般 : なし、 MNC会員 : 39名
参加者氏名	<p>1班 : 軸屋、詠田、村上、田中、小林、大地(祥)、古跡、吉田 永野、上郡、寺尾、小山、大地(敬)、多田 (14名)</p> <p>2班 : 平山、宮川、永田、飯盛、笠間、松田(輝)、高橋(美) 新宅、荒井、石原 (10名)</p> <p>3班 : 坪田、松生、小童、沼田、橘、木茂、齋藤(志)、西島、 森本、石川、西岡、竹内、牛塚、華崎 (14名)</p>
報告事項	<p>元旦からご来光の位置変化を知りたくて、里山に定点を決めて観察した。特段の意味はない。宝塚から生駒山嶺は台形状に眺められる。この山嶺の右端から左端へのご来光位置は移動して行く。ご来光時刻は1月1日~1月14日迄、暦上の日の出は7時6分と不変で、1月15日には反転し7時5分と回復し始め、暦上の新春である。迎春の意味を実感した。向後ほぼ1分/日、日の出が早まり春を迎える。実際の日の出は暦より約5分遅れる。この観察結果、生駒山嶺をセイゲツレイ(正月嶺)と名付けてみた。</p> <p>1月14日~18日早朝まで、断続的に雪が降った。山林は今までに見ない白く輝いた。理由は降雪を被った樹木は雪が溶け切れないまま凍った。その上に新雪を被り枝に巻きつき木々の黒さが消え、全くモンスターの如くなった。……閑話休題</p> <p>時は冬、自然材にはお休みをして頂き、紙材を使ったクラフト2題の工作に取り組む。</p> <p>1. 隠し絵 昔、夜店・お祭り等で見た、絵・文字を書き、取っ手を引くと絵が見事に消える。繰り返して何回も楽しみがある。回数を重ねると段々消えにくくなる苦い経験を思い出した。かつての花形玩具を思い出した。 工作には何れも勘所があり、決して甘く見てはいけない。先走って怒られた。谷・山折り等、折り方の手順ミス、のり代の間違ひは、致命傷である。 計算されつくした材料を与えられ、緊張して制作しました。非常に美しく、スマートな作品に仕上がった。数枚変化する騙し絵が出来ないか工夫をしたい思いはある。</p> <p>2. モビール 難しい工作である。甘く見てチャレンジしたが苦しんで取り組んだ。多種類のパーツを数多く準備された担当者に頭が下がる。加工された多くの折り紙細工を細い糸で組み上げる。衰えた目には厳しかった。細い糸は絡み、ほどくのに必死で取り組んだ。出来上がったモビールは空間に清々しく浮かび安らぎを感じさせた。日本の障子構造にピッタリの風流な下げ物である。 モビールとは少し違うが、日本古来から下げ物という風習がある。飛騨のさるぼぼ・福岡県柳川のつるし雛・奈良・京都にも下げ物を多く見かける。 講師の橘さま、石原さまに工作材のご準備頂き、心より感謝し、お礼を申し上げます。</p>
2月度工作	お雛様の工作内容の説明があり。素朴にして優雅な見本説明が森本班長からあった、今から楽しみである。雛段用の蒲鉾板持参の要望があった。
仮設事務所の件	2月末までに完成の予定。3月初めの仮設事務所に引っ越しの予定。新しい事務所の完成時期は未定。

以上

